

とくしま食品ロス削減宣言

私たちの住む徳島は、自然豊かなふるさとの風景が守られ、安全・安心な暮らしと恵み多き食文化や阿波藍、阿波おどり、阿波人形浄瑠璃、ベートーヴェン・第九などの阿波文化が息づいています。

また、子どもも大人も笑顔があふれ、未来を創造するたくましい若者が社会に貢献し、一人一人が自立しながら支え合い、地域がつながっています。

これからも、夢や希望に満ちあふれた活力ある地域の一員として成長していくとともに、人や環境、社会に配慮した「エシカル」の行動を実践し、食べ物を「もったいない」と思う気持ちを大切にします。

私たちは、地球規模の課題である食品ロスの削減を国民運動として推進し、この美しく魅力あふれる環境を次代に継承していくことをここに宣言します。

食品ロス削減 全国大会 in 徳島

エシカルで
ひろげよう

大会宣言を行う学校の活動を紹介します



徳島市佐古小学校

佐古小学校では給食を一度全部つぎ分け、一人分の食事量を知り、残食を減らそうとする活動「たべリンピック」を実施しています。この活動により、成長に必要な量を食べ、好き嫌いを減らそうとがんばっています。



徳島市南部中学校

3年生は、1学期から「SDGs」について考える学習をしています。自分たちの「未来」を考え、自分にできることを見つけ、行動していきます。責任ある社会の一員となることを目指してがんばっています。



徳島文理高等学校

私達は「MOTTAINAI」をキーワードに身近な生活の中でできる取り組みを考案しました。余剰食材の有効活用や冷蔵庫の「見える化」また啓発活動では標語や団扇を作成配布しました。どうぞ皆さんも、Take Action!

徳島版

食ロス削減啓発動画をYouTubeで公開中!

県内で食品ロス削減に取り組む方々の
“熱い”想いを、ぜひご覧ください!!



令和元年

10月30日(水)
13時～16時30分

(12時開場) ※ポスター展示は10時から18時まで

会場 徳島グランヴェリオホテル

- 主催：徳島県、徳島市、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会
- 共催：環境省、農林水産省、消費者庁

食品ロス削減全国大会 in 徳島の開催にあたって

徳島県知事

いづみ かもん
飯泉 嘉門



徳島市長

えんどう あきよし
遠藤 彰良



「食品ロス削減全国大会in 徳島」に、全国各地からご参加の皆様、ようこそ徳島へ。皆様のご来県を心より歓迎いたします。

国内で年間600万吨以上発生する食品ロスは、国連のSDGs(持続可能な開発目標)にも掲げられている世界規模での喫緊の課題であり、我が国では、本年10月1日に「食品ロス削減推進法」が施行されました。今後、消費者、事業者、国、自治体など、あらゆる主体が連携し、国民運動として食品ロス削減の取組みを推進する必要があります。地球規模で持続可能な社会の実現が急がれる中、法制定後、初の全国大会となる本大会では、食べ物無駄にしない「エンカル消費」の輪を、ここ徳島から全国へ広げて参ります。

第3回食品ロス削減全国大会をここ徳島市で開催するにあたり、多くの方々にご来場いただき、厚くお礼を申し上げますとともに、全国各地から「笑顔みちる水都とくしま」にお越しいただきました皆様を、徳島市民を代表して心から歓迎申し上げます。

生産や流通、家庭においてやむを得ず廃棄物が発生している今日、日本では「もったいない」が、廃棄物を減らす言葉になっています。こうした中、本大会で発表される取組みが、徳島はもとより全国各地で広まり、食品に対する「もったいない」精神の更なる高まりに寄与されることを切に願っております。

結びにあたり、食品ロス削減にご尽力されている皆様の今後ますますのご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

プログラム

12:00	開場	
12:45	歓迎パフォーマンス	阿波おどり[阿波おどり振興協会所属の連合連]
13:00	開会	主催者挨拶 飯泉 嘉門(徳島県知事)／遠藤 彰良(徳島市長) 来賓祝辞 大塚 拓 内閣府副大臣(予定)／加藤 鮎子 環境大臣政務官(予定)
13:25	先進事例発表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>はにぶち こうへい 壇 渕 恒平氏 株式会社キョーエイ 専務取締役</p> <p>各店舗で資源ごみを回収する社会福祉法人等に、販売には適さないものの品質には問題ない食品等を寄附し、福祉施設や生活困窮者に配布するフードバンク事業を県内全30店舗にて実施中。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>たけだ くにお 武田 國宏氏 上板町立高志小学校校長</p> <p>地域生産者、JA、企業、行政等と連携し、規格外の農畜産物を学校給食で活用することを通じ、食品ロス削減の意義や地場産業の重要性について学習指導を実施。</p> </div> </div>
14:05	基調講演	マルチステークホルダーで取り組む エシカル消費と食品ロス削減 さかの あきら 坂野 晶氏 特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー理事長 日本で初めて「ゼロ・ウェイスト」宣言を行った自治体・徳島県上勝町を拠点に、同町のゼロ・ウェイストタウン計画の策定・実装、ゼロ・ウェイスト認証制度の設計・運用、企業との連携事業など、政策立案や事業開発を行うとともに、国内外で年間100件以上の研修や講演を行いゼロ・ウェイストの普及を推進している。2019年1月には、世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)で、若手リーダーの一人として共同議長を務めた。
14:55	休憩	



15:05

トークセッション ICTを活用した食品ロス削減

コーディネーター



かど いづみ氏 四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科教授

CFPファイナンシャルプランナー、消費生活アドバイザーであり、専門はライフプランニング。ワークライフバランスやマネープランニング、キャリアデザインの視点から、個人や家庭、地域、教育機関など各主体が取り組むべき課題や体系的な教育啓発方法について研究を行っている。また、大学での教育活動の他、県内外で消費者問題、生活経済、ライフプランニングなどの分野で講演活動を行う。とくしまエンカル消費推進会議会長、徳島県消費生活審議会会長。

パネリスト



えんどう まさみち
遠藤 正道氏

株式会社NTTドコモ
法人ビジネス本部 第二法人営業部
BtoBtoX推進担当部長

消費・賞味期限が近づいた食品の購入者にポイントを付与し、自分の貯めている好きなポイントに変換できる「ecobuy(エコバイ)」サービスを開発。商品購買、消費行動の変化を促すことにより、食品ロス削減を目指している。



ほんま もとひろ
本間 基寛氏

一般財団法人日本気象協会 事業本部
防災ソリューション事業部
専任主任技師

唯一将来を物理的に予測可能な気象のビッグデータ×AIを活用し、高精度の食品需要予測モデルを開発。豆腐や冷やし中華つゆなど、様々な食品のロス・廃棄の削減を実現。



さきた ゆうこ
崎田 裕子氏

全国おいしい食べきり運動
ネットワーク協議会 会長

ジャーナリスト・環境カウンセラー(環境省登録)。中央環境審議会委員や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「街づくり・持続可能性委員会」委員などに就任し、持続可能な循環型社会の実現に広く関わる。



さきた まりこ
清田 麻利子氏

特定非営利活動法人
フードバンクとくしま 理事長

品質に問題がないにも関わらず廃棄されている食品を必要とされる団体等へ提供する事業を行い、地域で支え合う社会の実現を目指して活動。ICTを活用した効率的な受け渡しシステムの運用に向け準備中。



ほしじょう せいじ
北條 誠治氏

四国化工機株式会社 食品事業生産本部
食品事業企画管理室
商品開発グループ グループ長

製造・流通過程で発生する食品ロス削減に取り組む。廃棄ロスを削減するため、独自の販売予測システムを導入。また、長期保存可能商品の開発により廃棄ロスを抑制。家庭での廃棄ロス削減支援として小分け商品を早くから商品化。

16:15

大会宣言 徳島市佐古小学校、徳島市南部中学校、徳島文理高等学校

16:30

閉会